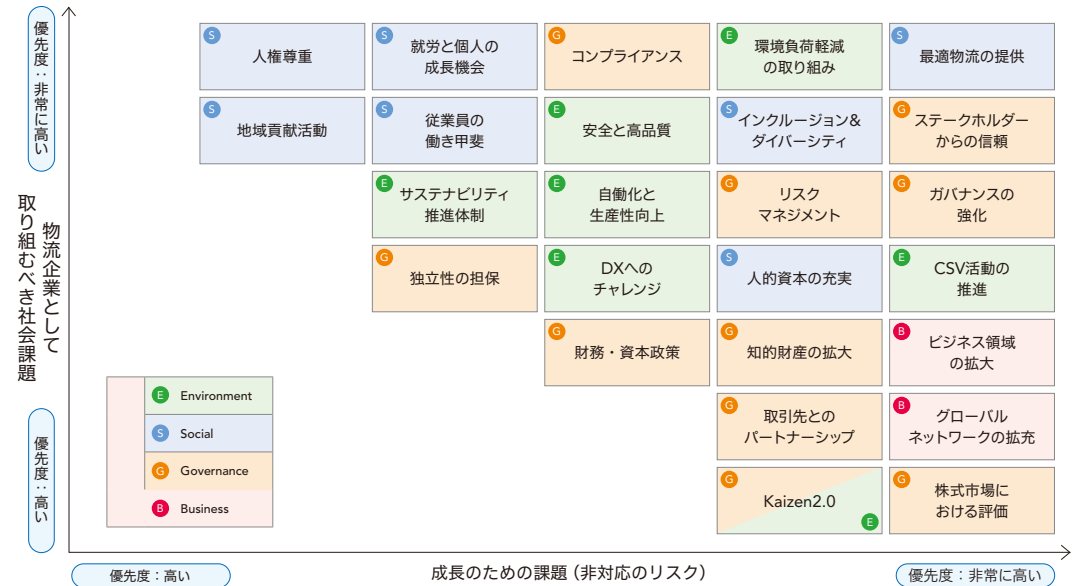


マテリアリティ

アルプス物流グループでは、「ものづくりを支える最適物流を追求し、豊かな社会の実現に貢献します」の企業理念のもと、さらなる事業成長と企業価値向上に注力します。2023年3月期より始まった第5次中期経営計画の策定に先立ち、事業活動における重要度、社会課題への影響度を踏まえ、25テーマを特定し、6つのマテリアリティとしてまとめました。

マテリアリティの特定にあたっては、SDGs、SASBスタンダード、TCFDなど、サステナビリティに関わる国際的なガイドラインを踏まえ、素案を設定しました。その後、社外取締役を含めた取締役・執行役員でのディスカッションを経て、取締役会にて決定しました。



マテリアリティ	テーマ	重要である理由
1 「選ばれる会社」 誠実・公正な経営	<ul style="list-style-type: none"> S 人権尊重 G コンプライアンス G ステークホルダーからの信頼 	ステークホルダーから信頼され選ばれる企業になることが重要と考え、人権をはじめ自社における企業倫理の尊重、コンプライアンス強化などに取り組んでいます。
2 「最適物流」による 効用の拡大	<ul style="list-style-type: none"> E DXへのチャレンジ E 安全と高品質 E 自動化と生産性向上 S 最適物流の提供 G 取引先とのパートナーシップ B グローバルネットワークの拡充 B ビジネス領域の拡大 	貨物の多彩な「物流個性」をとらえた最適物流を提供し、社会のインフラとしての役割を果たすためには、物流ソリューションがより進化を続けることが求められます。サプライチェーンの高度化・複雑化に伴うお客様の生産性向上・物流革新の個々のニーズにお応えするために、デジタル化・自動化の施策推進、グローバルネットワークの拡充、安全・品質・生産性に優れた物流サービスの構築・進化を図っていきます。
3 事業を通じた 環境負荷軽減の 取り組み	<ul style="list-style-type: none"> E 環境負荷軽減の取り組み E CSV活動の推進 E サステナビリティ推進体制 	地球温暖化をはじめ、気候変動への取り組みは世界的に重要な課題であり、特に物流企業にとってGHG排出量の削減は果たすべき務めです。当社はこの課題に向き合い、解決に貢献していきたいと考えています。
4 事業を通じた 地域とヒトへの貢献	<ul style="list-style-type: none"> S 地域貢献活動 S 就労と個人の成長機会 S インクルージョン&ダイバーシティ S 従業員の働き甲斐 	社会課題が複雑化・多様化するなかで、事業を通じて社会課題の解決を行うためには、従業員一人ひとりが生き生きと働ける環境づくりが重要だと考えています。当社では人的資本への投資を中長期的な視点で管理し、対策を講じていくことが求められます。そのため、リスク管理体制の構築や適時適切かつ透明性の高い情報開示が重要と考えています。
5 プライム市場企業 としての体制強化	<ul style="list-style-type: none"> G リスクマネジメント G ガバナンスの強化 G 財務・資本政策 G 独立性の担保 G 株式市場における評価 	公正で透明な経営を行い、ステークホルダーからの信頼を高めるために、企業はガバナンスの仕組みを強化し続ける必要があります。加えて、変化し続けるさまざまなリスクを中長期的な視点で管理し、対策を講じていくことが求められます。そのため、リスク管理体制の構築や適時適切かつ透明性の高い情報開示が重要と考えています。
6 非財務資本の 維持・強化	<ul style="list-style-type: none"> G/E Kaizen2.0 S 人的資本の充実 G 知的財産の拡大 	より強靱な物流インフラの整備に貢献するためには、日々の改善活動に根差した物流技術の創出が重要と考えています。改善によるノウハウは重要な知的財産、つまり経営資源と認識し、適切な権利の保護、事業の優位性の確保へとつなげる取り組みを開始しました。